

《特集》男女共同参画の視点からの防災～防災からわかる男女共同参画の必要性～

『男女共同参画』と『防災』の取組に必要なものは？

共通するのは『ともに助け合う』こと！

東日本大震災では、男女共同参画の視点が反映されていないことにより、備蓄品や避難所において様々な問題点が顕在化しました。また、通常の備えに対しても、本当に必要なものがリュック等に入っていないかったということもありました。

それと同時に災害時において、『男女共同参画の視点に立つ』ことの重要性もわかりました。

では、どのような意識や心構えを持って取り組んでいくのか？

いつ起こってもおかしくない災害！ 今回は、災害が起こった時、性別や年齢、家族構成などニーズの違いに配慮した備えや対策について、常に男女共同参画の視点から防災を考える必要性について特集します！

男女共同参画の視点からの防災①

**備えは
万全？**

避難用バッグに“本当に必要なもの”ありますか？

一般的に必要なものだけではなく、自分や家族に必要なものも！

非常用リュックに入っているもの！それは、人それぞれ違うはずです。

自分や家族が本当に必要なものを入れておくことが重要です！

通常の非常用リュックの中身

飲料水(水筒)
食糧(乾パン等)
懐中電灯(ラジオ付)
カイロ・扇子
衣類・毛布類
ティッシュ類
携帯電話用自動充電器
マスク・ゴーグル・医薬品
軍手・手袋
現金・保険証 等

★その他こんな場合は？

視力が悪い方は、コンタクトセットや予備のメガネ。
また、ペットがいればペット用食料やトイレが必要です。

自分達の生活にあった備えが大切！

★子どもに必要なものを入れる！

おむつ、おしりふき、おんぶ紐、粉ミルク(ほ乳瓶)、離乳食、湯沸器具、消毒剤、スプーン、ごみ袋、毛布類、子ども用の着替えなど

★女性に必要な備えは？

生理用品類、下着、鏡、ラップ
中身の見えないごみ袋、髪止め類、基礎化粧品類、携帯トイレ、ホイッスル(防犯ブザー)、ポーチ
ハンドクリームなど

★高齢者の備えは？

老眼鏡、大人用おむつ、着替え、おしりふき、杖、入れ歯洗浄剤、常備薬、お薬手帳、家族の写真、保険証(身分が確認できるもの)、食糧(やわらかいもの)等

男女共同参画の視点からの防災②

**ニーズに
配慮した
避難所を**

性別・年齢・身体的特性に配慮した環境を！

女性や子どもが安心して生活できる避難所づくりを



★男女共同参画の視点に配慮した避難所に必要なことって？★

避難所生活では、性別や年齢、家族構成が違う、多くの方がいっしょに生活します。

また、時には長期化することもあります。

避難所の開設・運営にあたっては、避難をされている方のニーズや身体的特性に配慮することが必要です。

では、男女共同参画の視点に配慮した避難所づくりには、どのようなことが必要なのでしょう？



▲東日本大震災時の厚木市での帰宅困難者の受け入れの様子

女性や子どもに配慮した避難所の開設

- ◇安心・安全面の配慮
(女性専用スペースの見回りや暴力の防止)
- ◇女性や子育て家庭の意見やニーズの把握
(意見を聞くことで、必要なものがわかる)
- ◇運営・管理責任者に女性も配置
(身体的特性を理解し、相談しやすい)

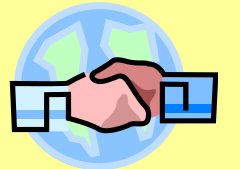
男女共同参画の視点に配慮した運営管理

- ◇異性の視線が気にならないような空間の確保
(着替えや、授乳のため)
- ◇同じ環境・立場の方を同じエリアにする。
(乳幼児を持つ家庭、単身女性や高齢者等)
- ◇トイレは別々に設置
(女性用は男性用よりも多めに！)

防災への意識とは、災害に備えるだけでなく、日頃からともに助け合う心構えが必要です！！

心構え①・・・様々な家庭や環境の方がいっしょに生活する状況では、お互いが思いやりを持つことです。

心構え②・・・多くの方とコミュニケーションを取ることが、相手を理解する一番の近道です。



「男女共同参画社会」の視点を取り入れた防災体制の確立は、女性でも男性でも必要なことです。しかし、防災における男女共同参画の視点は、まだ、取り入れられていない部分があるのも事実です。では、どのようなことが必要なのでしょう？

それは、女性や子ども、高齢者の方が必要なものを理解することだと思えます。そして、そのためには防災会議の委員や避難所の管理責任者に男女両方を登用することなどが必要であると考えます。

みなさんも、今こそ『防災と男女共同参画』に対し真摯に向き合い“ともに助け合う”という意味を考えてみてください。男女共同参画の視点に立つことが災害に、より強い地域になるはず！